

大学キャンパス・マスタープランの構成に関する基礎的研究

齊藤 里枝

1. 研究の背景と目的

社会が大きな変化を遂げていく中で、都市の重要なインフラの一つである大学のあり方が強く問われており、これは世界中の大学共通の課題である。大学キャンパス・マスタープランは時代に対応するキャンパスをつくる際の基本的なルールであり、その構成は大学の使命を色濃く反映したものとなる。マスタープランは大学の抱える様々な課題を踏まえて作成されるため、その中に現在の大学が抱える課題とその解決の糸口を見出すことが可能と考えられる。

本研究は、大学キャンパス・マスタープラン及び長期開発計画を対象として、その構成、及び構成要素を明らかにすると共に、キャンパス・マスタープラン構成上の課題を明らかにすることを目的とする。各大学の置かれた背景や抱えている課題によりマスタープランのフロー、記載方法、内容は様々であるが、大学間でマスタープランの比較を行い、その構成や課題を横断的に論じたものはない。

2. 研究のフロー

まず、海外大学の事例をもとにマスタープラン等の構成要素を明らかにし、構成タイプを分類する。そしてタイプごとに、記載内容の再編成と分類を行い、大学間で異なる位置付けとして捉えられていた各計画要素を整理し、考察を加える (図1)。

3. 分析対象

アジア・オセアニア、中東、中南米、北米、ヨーロッパ、の先進諸国における学生数10,000人以上を擁す

る規模の大学にマスタープラン等の提供依頼文を送付し回答のあったもの、Web 検索により情報を入手したものなど、合計128校に関する資料を得た。その中から、①計画、提案内容が文章及び図面にて提示されているもの、②内容の充実度、③書籍体であり、プレゼンテーション用の概要版やパンフレットに類しないもの、④言語による資料の理解に差が生じないこと、⑤可能な限り最新版であること、等を基準に45資料を抽出し、分析の対象とした (表1)。

4. 大学キャンパス・マスタープランの構成

4-1. 構成要素

分析対象資料の目次構成および記載内容により、構成要素とその内容についてまとめた結果、国や大学を問わず、「導入」、「条件」、「目標・方針」、「計画」、「運用」の5つの構成要素に分類できた。「運用」に関する記述が見られないものもあるが、過半数の資料において、他の4要素の記述が見られた。

①導入：マスタープラン、大学のサマリー (概要)、ヴィジョン、策定目的等に関する記述。概要版を付属あるいは最初の章としている点に特徴があり、43の資料において確認した。

②条件：大学の周辺地域、地形や地質、気候等の自然環境や歴史環境、隣接市街地や周辺都市との関係、道路体系等、主に現況や、計画を進めるにあたって踏まえるべき事柄についてである。また、既存のキャンパスについて、土地利用、ゾーニング、空間の構造、施設実態、景観資源、動線、サービス、学生数の遷移等を紹介すると共に直面する課題の抽出を行っており、39の資料において確認した。

③目標・方針：大学のヴィジョンや「条件」において抽出した課題を視野に入れたマスタープラン等の目標、コンセプト、原則、適用範囲、戦略、指針についての記述であり、過半数の資料において確認した。

④計画：計画の図面、スケッチ、概念図等と解説など。敷地全体の総合配置計画図と、それをベースとした各要素の計画および提案の内容を示した図面、スケッチが主なものであり、オープンスペースや駐車場、或いはキャンパスの主要な空間が表現されている。

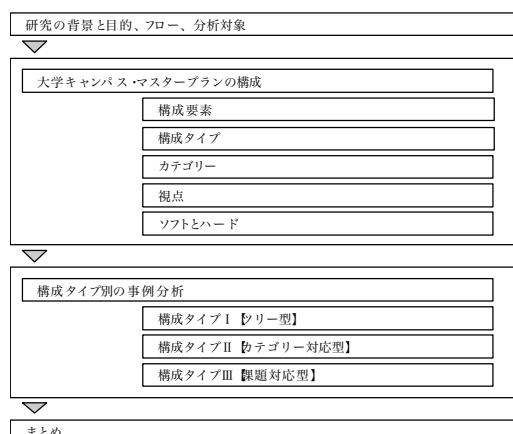


図1 研究のフロー

表1 マスタープラン等の構成比較

国名	大学名	マスタープラン名	策定年(西暦)	導入		条件			目標・方針					計画	運用												
				サマリー・概要	目的・ビジョン	地域のコンテクスト	課題	分析	予測	マスタープランの目標	コンセプト	計画原則	M P等の構成	戦略	指針	計画・提案	規程・スタンダード	ガイドライン	アクションプログラム	実施スケジュール	コスト	長期開発関連	パイロットプラン	チェックリスト			
AUS	Griffith University	Logan Campus Site Planning Report, 1996	1996	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of New England	University of New England Master Plan Review 2002	2002	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
CA	Carleton University	Campus Master Plan, 1996	1996	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○				
	University of Guelph	Campus Master Plan	2002	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○				
	McMaster University	McMaster University Campus Master Plan - Mar 2002	2002	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○				
USA	University of Alabama	The University of Alabama Campus Master Plan 1969 Update	1969	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Alaska Fairbanks	Campus Master Plan	2002	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Northern Arizona University	Campus Master Plan	2001	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	The University of Arizona	University of Arizona Comprehensive Campus Plan 2003	2003	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of California, Berkeley	The New Century Plan	2002	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Colorado System	Campus Master Plan	2001	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Connecticut	University of Connecticut Master Plan	2000	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Kansas State University	Campus Mater Plan	2002	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○				
	University of Maryland	Facilities Master Plan 2001- 2020	2002	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○				
	University of Massachusetts Amherst	Campus Physical Master Plan, 1993	1993	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Minnesota State University	MSU Master Plan	2002	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Minnesota, Crookston	University of Minnesota, Crookston 2001 Master Plan Update	2001	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University System of New Hampshire	Comprehensive Campus Master Plan 1994	1994	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	State University of New York - SUNY	University at Albany State University of New York Master Plan Report	1998	○	-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Western Oregon University	Campus Master Plan 2000- 2010	2000	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Clemson University	Campus Master Plan Clemson University 2002 Draft	2002	○	-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	Iamar University	Beaumont Campus Master Plan	2000	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	TEXAS A&M University, Commerce	Campus Master Plan	2001	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Texas at Arlington	Campus Mater Plan& Planning Guide 1999- 2020	1999	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
	University of Vermont	Campus Master Plan	1997	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-				
Virginia Tech	Master Plan 1994 Update	1994	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
University of Washington	University of Washington Master Plan Seattle Campus	2001	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
California Institute of Technology	California Institute of Technology Revised Master Plan	2001	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
Carnegie Mellon	Campus Plan	2002	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
The University of Chicago	The University of Chicago Campus Master Plan	1999	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
Yale University	A Framework for Campus Planning	2000	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-					
分析対象資料数 31				30	9	14	13	24	13	13	9	22	4	17	8	5	6	3	30	3	14	8	8	10	5	6	2
長期開発計画	AUS	University of New South Wales	Campus Development Strategy - Phase II, 1998	1998	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-			
	CA	University of Queensland	Site Development Plan 1996	1996	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
	CA	University of Alberta	LRDP 2002 Building on Vision - University of Alberta	2002	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of Regina	Campus Plan for Long Range Development	2001	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of California, Berkeley	Long Range Development Plan 1990- 2005, 1990	1990	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of California, Davis	2003 Long Range Development Plan Initial Study, 2002	2002	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of California, Los Angeles	2002 Long Range Development Plan	2002	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of California, Merced	Long Range Development Plan	2001	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	
	USA	University of Oregon	Long Range Campus Development Plan	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
USA	University of Pennsylvania	Campus Development Plan 2001	2001	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
分析対象資料数 10				9	2	2	7	9	3	1	3	4	2	5	2	0	2	3	6	1	2	1	0	0	1	1	1
その他	AUS	University of Western Australia	Campus Planning Review 2000	2000	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
	CA	University of Calgary	Campus Community Plan (CD)	2001	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
	UK	University of Warwick	Univ of Warwick 1994 Development Plan	1994	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
USA	Western Washington University	Institutional Master Plan Sep 24, 2001	2001	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
分析対象資料数 4				4	0	0	2	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	3	2	1	1	1	1	2	1	0

※各大学のキャンパス マスタープラン、長期開発計画 Long Range Development Plan)および関連資料をもとに筆者が作成した。

※○ 記述あり - 記述なし、または不明

⑤運用：計画の実施を行う為の具体的なプロセス、アクションプログラム、スケジュールを示したもの。実施に向けた補助的なツールとして、ガイドラインやチェックリストを備えているもの、具体的なタイムスケジュールに沿って、実施予定のプロジェクトの規模とコストを算出しているものもある。

4-2. 構成タイプ

マスタープラン等の記載内容が5段階で構成されていることが確認できたが、ここでは「条件」、「目標・方針」、「計画」の関係性に着目し、以下の3つのタイプに分類する(図2)。ここで述べる「計画要素」とは、今後行う再分類によって、カテゴリとして整理されるもので、原文においての呼び方とする。

①ツリー型：「条件」、「目標・方針」、「計画」ごとに計画要素に沿って解説するものであり、過半数がこのタ

イプに該当する。ただし、地図等で構成される「計画」は「目標・方針」に付随するケースもある。各構成要素の全体像が理解しやすいのが特徴である。

②計画要素対応型：交通、景観、土地利用などの計画要素毎に「条件」、「目標・方針」及び「計画」をまとめたもので、計画要素ごとに計画の全体像が把握しやすい構造である。

③課題対応型：大学が抱える課題毎に「条件」、「目標・方針」を述べているタイプである。課題に関連する計画要素についての対処が多眼的にまとめられており、課題解決のイメージが掴みやすい構造である反面、同一計画要素の計画が分散し、計画の全体像が掴みにくく、内容が偏る恐れがある、などの欠点もある。

4-3. カテゴリ

マスタープラン等の主要部分であり、構成タイプを

	ツリー型		計画要素対応型	課題対応型	
導入	ビジョン 目的等	ビジョン 目的等	ビジョン 目的等	ビジョン 目的等	ビジョン 目的等
条件	計画要素A 計画要素B 計画要素C .	計画要素A 計画要素B 計画要素C .	計画要素A 条件 目標・方針 計画	計画要素A 計画要素B 計画要素C .	課題Ⅰ 条件 目標・方針 計画
目標 方針	計画要素A 計画要素B 計画要素C .	計画要素A 目標・方針 計画 計画要素B 目標・方針 計画	計画要素B 条件 目標・方針 計画	課題Ⅰ 目標・方針 計画 課題Ⅱ 目標・方針 計画	課題Ⅱ 条件 目標・方針 計画
計画	計画要素A 計画要素B 計画要素C .	計画要素C 目標・方針 計画	計画要素C 条件 目標・方針 計画	課題Ⅲ 目標・方針 計画	課題Ⅲ 条件 目標・方針 計画
運用	規程・スタンダード アクションプログラム チェックリスト等	規程・スタンダード アクションプログラム チェックリスト等	規程・スタンダード アクションプログラム チェックリスト等	規程・スタンダード アクションプログラム チェックリスト等	規程・スタンダード アクションプログラム チェックリスト等
調査校	University of Massachusetts Amherst (USA) University of Washington (USA) Griffith University (AUS) 他35校		University of New South Wales (AUS) University of California, Davis (USA) Virginia Tech (USA) 他1校	University of Pennsylvania (USA) Carleton University (CA) University of Western Australia (AUS)	

図2 構成タイプ

表2 マスタープランの主要部分とカテゴリー

グループ	視点	カテゴリー	条件		目標・方針		計画
			ソフト	ハード	ソフト	ハード	
プログラム	大学内)	大学経営	●	●	●	●	●
		教育	●	●	●	●	●
		安全	●	●	●	●	●
地域外)	都市経営	●	●	●	●	●	
	コミュニティ	●	●	●	●	●	
	大学個性	●	●	●	●	●	
イメージ	大学内)	景観	●	●	●	●	●
		一般土地利用	●	●	●	●	●
		オープンスペース	●	●	●	●	●
空間	地域外)	エッジ・周辺	●	●	●	●	●
		研究教育施設	●	●	●	●	●
		居住施設	●	●	●	●	●
移動	大学内)	キャンパス動線	●	●	●	●	●
		アクティビティ	●	●	●	●	●
		アクセス・交通	●	●	●	●	●
環境	大学内)	資源マネジメント	●	●	●	●	●
		自然・歴史	●	●	●	●	●
		自然・歴史	●	●	●	●	●

● 計画要素

左右する「条件」、「目標・方針」、「計画」に着目し、目次やフローを参考に計画要素を抽出したところ、計画要素は「プログラム」、「イメージ」、「空間」、「移動」、「環境」の5つのグループに分類できた。さらに、それに付随する以下の17のカテゴリーも抽出した(表2)。

- ①プログラム：大学の戦略、将来に対する指針等を含む「大学経営」、教育全般、学部学科の組織に関する「教育」、大学の安全・防犯等に関する「安全」、都市の政策や方針との関わりに関する「都市経営」、人を主体とした地域社会や周辺コミュニティとの連携等に関する「コミュニティ」があげられる。
- ②イメージ：大学のイメージ、特徴に関する「大学個性」、景観、ランドスケープに関する「景観」があげられる。
- ③空間：キャンパス敷地の土地利用に関する「一般土地利用」、敷地内の特にオープンスペースに関する「オープンスペース」、キャンパスの境界部分と周辺地域の土地利用に関する「エッジ・周辺」、大学建物のデザイン等に関する「研究教育施設」、キャンパス内外の学生の居住施設に関する「居住施設」があげられる。
- ④移動：キャンパス内の人、乗り物の移動に関する「キャンパス動線」、活動の集合地などに関する「アク

ティビティ」、外部からキャンパスへのアクセスや交通に関する「アクセス・交通」があげられる。

⑤環境：水、エネルギー等の資源への配慮に関する「資源マネジメント」、キャンパス内外を含んだ自然や歴史に関する「自然・歴史」があげられる。

4-4. 視点

前項で分類した5グループの17カテゴリーをさらに、その性格を明確にするため、大学からの視点(内)、地域からの視点(外)と言う2つの視点に分けた(表2)。

4-5. ソフトとハード

マスタープランの「目標・方針」は、その具体度から、計画を導く目標としてのプログラム(ソフト)と、それを実現するために提唱される具体的な計画(ハード)に分類することができる(表2)。

5. 構成タイプ別事例分析

5-1. 構成タイプⅠ【ツリー型】

マサチューセッツ大学アマースト校(以下アマースト)を事例として、前項の分類に従い構成を把握した。「条件」が「こんにちのキャンパス」、「目標・方針」と「計画」が「将来のキャンパス」に整理されており、どちらも、動線計画とパーキング、土地利用とインフラ、オープンスペースとレクリエーション、経済と地域の発展、の主として4つの計画要素についてまとめられていることが特徴である(図3)。

「目標・方針」、「計画」は「条件」を踏まえた上で提案している整備方針等と判断し、ここでは「目標・方針」、「計画」の内容をカテゴリーに分類した。大学が設定した計画要素は4つであったが、内容は多岐に渡っていることが分かる。また、大学の将来の発展に関してのプログラムや地域を意識した交通計画などに重きが置かれている為、ハードの項目は多い。一般的には、プログラムであるソフトに比べて、具体的な取り組みについて述べているハードの方が多くなりがちだが、アマーストもほぼその傾向が見られた(図6)。

5-2. 構成タイプⅡ【計画要素対応型】

ニューサウス・ウェールズ大学(以下UNSW)を事例として前項の分類に従い構成を把握した。UNSWの開発戦略の特徴は、キャンパス・レイアウトとイメージ、土地利用と活動の配置、配置とデザイン、アクセスと動線、ランドスケープ、インフラ、の6計画要素が各々2から8章に対応し、「条件」、「目標・方針」、「計画」が章ごとにまとめられていることである(図4)。

「目標・方針」、「計画」の記載内容をカテゴリーに分類した。大学が設定した6計画要素を反映し、それぞれのカテゴリーにボリュームがある。特に、大学個性

目次	構成	目次	構成							
要約 こんにちのキャンパス 意図 ビジョン ゴール 目的 コンセプト 要約の勧告	導入	1 導入 1.1 レビューの背景 1.2 レビューの目的と構造 1.3 他の都市圏キャンパス	導入							
1 導入 目的 計画の仮定 手順		2 将来のキャンパスレイアウトとイメージ 2.1 目標 2.2 都市デザイン・コンセプト 2.3 キャンパス開発 1989-1999 2.4 開発機会 2.5 2000以降の開発戦略 2.6 環境の持続性 2.7 区域		計画要素A 条件 目標・方針 計画						
2 キャンパスの歴史 始まり 農業大学としての成長 戦後の拡張		3 土地利用と活動の配置 3.1 現況 3.2 目標 3.3 原則 3.4 戦略			条件 B 条件 目標・方針 計画					
3 こんにちのキャンパス 戦略的な展望 キャンパスの分析と評価 交通、動線計画およびパーキング キャンパスの土地利用とインフラストラクチャ キャンパスのオープンスペースとレクリエーション 経済とコミュニティの開発 キャンパスのイメージ調査		4 配置とデザイン 4.1 現況 4.2 目標 4.3 原則 4.4 戦略				条件 C 条件 目標・方針 計画				
4 将来のキャンパス 将来のビジョン 動線計画とパーキング キャンパスの土地利用とインフラストラクチャ 計画ワークショップで識別された設備ニーズ キャンパスのオープンスペースとレクリエーション 経済の発展とコミュニティ計画 キャンパス発展に関する問題 コミュニティの発展に関する問題		5 アクセスと動線 5.1 キャンパスへの移動 5.2 統合された乗り物、アクセス、動線の戦略 5.3 パーキング 5.4 キャンパスへのアクセスとキャンパスでの動線 5.5 キャンパス・ウォーク 5.6 目標 5.7 原則 5.8 戦略					条件 D 条件 目標・方針 計画			
5 戦略的計画の勧告 動線計画とパーキング キャンパスの土地利用とインフラストラクチャ キャンパスのオープンスペースとレクリエーション 経済の発展とコミュニティ計画		6 ランドスケープと景観作業 6.1 現況 6.2 目標 6.3 原則 6.4 戦略						条件 E 条件 目標・方針 計画		
		7 インフラストラクチャ 7.1 導入 7.2 目標 7.3 原則 7.4 戦略							条件 F 条件 目標・方針 計画	
		8 戦略の実施 8.1 戦略の保護 8.2 戦略の実施項目								

図3 アマースト・マスタープラン

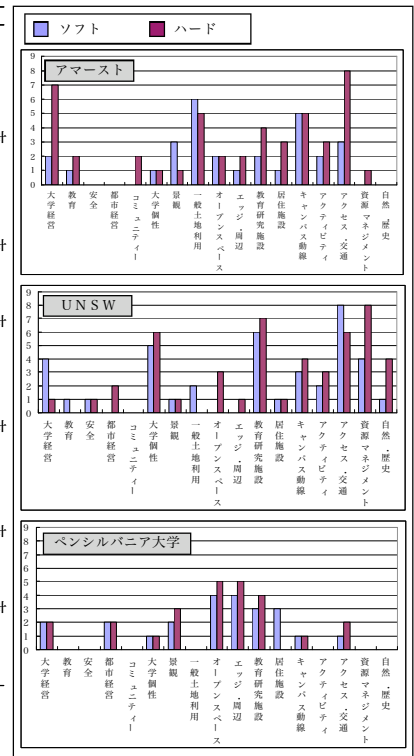


図4 UNSW・開発戦略

図6 各大学のカテゴリー別項目数

目次	構成
キャンパス開発計画 計画の目的 計画発展の経緯 Penn大概要	導入
主な調査結果 キャンパスの学術的な構成 キャンパス構造: 建物、土地、通りおよびインフラストラクチャ Penn大の都市の状況	
勧告 (6ゴール) 1 キャンパス間の結びつきの強化 2 キャンパス全体の一貫したアイデンティティの想像 3 歴史的歩行者コアの強化 4 主要な再開発への投資 5 University City 居住コミュニティの向上 6 大学と市中心部との接続	条件 目標・方針 計画
戦略的な先導	
要約	

図5 ペンシルバニア大学・開発計画

については、計画要素にキャンパスイメージがあげられているため、他大学と比べて重要視されていることが分かる。他にも建物デザイン、交通、環境について、ソフト、ハードいずれも多数であり、物的な項目が多いのが特徴となっている (図6)。

5-3. 構成タイプⅢ【課題対応型】

ペンシルバニア大学を事例として、前項の分類に従い構成を把握した。大学の果たすべき課題として、キャンパス間の結びつきの強化、キャンパス全体の一貫したアイデンティティの想像、歴史的歩行者コアの強化、主要な再開発への投資、University City 居住コミュニティの向上、大学と市中心部との接続、の6つの勧告をあげ、それぞれについて「目標・方針」、「計画」が整理されている (図5)。

「目標・方針」、「計画」の記載内容をカテゴリーに分類した。6つの課題に対応した計画内容のみを取り上げているため、詳細なカテゴリーに分類すると比較的内容が少量であるのがこのタイプの特徴である。カテゴリーそれぞれの内容も、課題に対応した一面的な記

述になりがちである (図6)。

6. まとめ

本研究では、以下のことが明らかとなった。

(1) 海外大学の事例をもとに、大学キャンパス・マスタープラン等が、「導入」、「条件」、「目標・方針」、「計画」、「運用」の5つの構成要素から成ることを明らかにした。

(2) 構成要素の関係性に基づき、マスタープラン等を「ツリー型」、「計画要素対応型」、「課題対応型」の3タイプに分類した。「ツリー型」は各構成要素の全体像が理解しやすく、「計画要素対応型」は各計画要素の全体像が把握しやすい。「課題対応型」は大学の課題が理解しやすいが、内容が一面的になる恐れがあるなど、それぞれの特徴を把握した。

(3) マスタープラン等の主要部分である「条件」、「目標・方針」、「計画」の3要素に着目し、その記載内容を「プログラム」、「イメージ」、「空間」、「移動」、「環境」の5グループに整理した。また、大学からの視点(内)、地域からの視点(外)を用いて合計17のカテゴリーを抽出した。さらに、各カテゴリーに属する記載項目は、目標を実施するプログラム(ソフト)と、手法である具体的計画(ハード)に分類することができる。

(4) 構成タイプ、構成要素、カテゴリー、ソフト・ハードに従って、海外の事例をもとにその記載内容を抽出し、各カテゴリーに含まれる内容のボリュームを把握した。